

株主・投資家の皆様へ

LINTEC

WAVE

リンテックウェーブ

*Linking
your
dreams*

MARCH 2023

90

● 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長
社長執行役員

服部 真

● スペシャルレポート

リンテックの洋紙事業

第129期
(2023年3月期)
第3四半期
決算情報

証券コード: 7966



かわぐちこ

河口湖（山梨県）

富士山麓の北に位置する富士五湖の中で2番目に大きな湖。波が穏やかな日は湖面に逆さ富士が現れ、春には満開の桜と富士山という日本を象徴するような景色が眺められる。

目次

2 連結業績推移

3 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長
社長執行役員

服部 真

4 スペシャルレポート

リンテックの洋紙事業

8 トピックス

9 2022年度 新聞広告シリーズ

10 決算情報

12 セグメント情報

15 株式情報

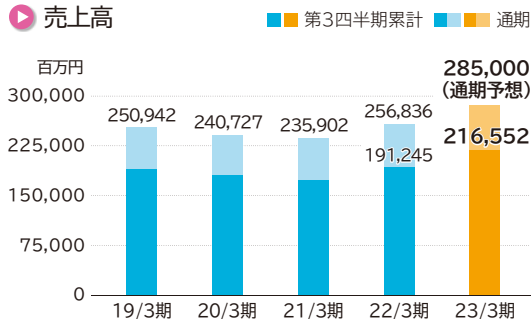
※当第1四半期連結会計期間において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度に係る連結財政状態の数値については暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

（免責事項）

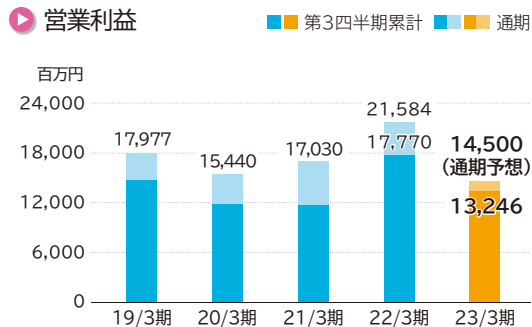
業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

連結業績推移

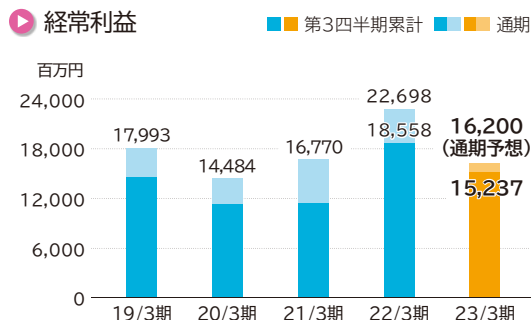
売上高



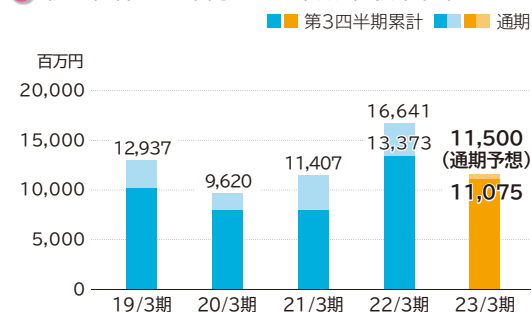
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益



▶2023年3月期第3四半期連結累計期間(前年同期比)

売上高

216,552百万円(13.2%増)

営業利益

13,246百万円(25.5%減)

経常利益

15,237百万円(17.9%減)

親会社株主に帰属する四半期純利益

11,075百万円(17.2%減)

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの2023年3月期第3四半期連結累計期間の業績は、米国グループ会社での買収効果や円安の影響などによって売上高は大幅に増加した一方、利益面ではパルプをはじめとする原燃料価格の大幅な上昇を受け、徹底的なコスト削減や価格改定に取り組んだものの、上昇分の全てをカバーするには至らず、上記のとおり増収減益となりました。

通期連結業績につきましては、スマート



代表取締役社長
社長執行役員 **服部 真**
はっとり まこと

フォンやパソコンなどの市場低迷や在庫調整の影響を受けることで受注が大幅に減少し、生産設備の稼働率低下に伴う操業損失が増加するほか、さらなる原燃料価格の上昇や米国景気の後退による子会社の販売数量減少などが予想されることから、昨年11月発表の業績予想を下記のとおり修正いたしました。中期経営計画の最終年度となる来期に向けて、引き続きコスト削減や価格改定などに取り組んでまいります。

株主・投資家の皆様には引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

2023年3月期通期連結業績予想				2022年3月期
	当初予想 (2022年5月発表)	前回修正予想 (2022年11月発表)	今回修正予想 (2023年2月発表)	実績
売上高	2,850億円 ▶	2,920億円 ▶	2,850億円	2,568億36百万円
営業利益	215億円 ▶	155億円 ▶	145億円	215億84百万円
経常利益	215億円 ▶	185億円 ▶	162億円	226億98百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	155億円 ▶	135億円 ▶	115億円	166億41百万円

リンテックの洋紙事業

当社グループでは粘着製品や剥離紙・剥離フィルムのほか、独自の抄紙技術を生かしてカラー封筒用紙や色画用紙、工業用特殊機能紙などの「特殊紙」と呼ばれる付加価値の高い紙製品の開発・製造・販売も行っています。今号では特殊紙製品を取り扱うリンテックの洋紙事業の特徴や最新の動向などについてご紹介します。

リンテックの抄紙技術と特殊紙製品

当社では着色・混抄・含浸・表面加工といった抄紙技術を生かすことで、さまざまな色合いや風合い、機能性を付与した多種多様な特殊紙を製造・販売しています。大手製紙会社のように一般紙を大量生産するのではなく、特別仕様の設備で

多品種・少量生産に対応できるのが当社の強み・特徴で、国内トップシェアを誇るカラー封筒用紙や色画用紙をはじめ、独特な風合いを持ったファンシーペーパー、食品の包装に使われる耐油耐水紙など、数多くの製品をラインアップしています。

四つの抄紙技術を駆使し、幅広い市場に特殊紙を展開

① 着色技術

木材パルプに染料や顔料などを配合し、着色することによって、安定した品質で色紙をつくる技術

② 混抄技術

非木材パルプ、化学繊維、企業から出た廃棄物などを配合し、さまざまな意匠性を持った紙をつくる技術

③ 含浸技術

薬品や樹脂を紙の内部まで均一に浸透させることで、耐油・無塵・難燃性などを付与する技術

④ 表面加工技術

表面に薬品を塗工したり、表面をプレスしたりすることで、紙の表面を加工する技術



封筒



文具



書籍



食品



工業

身の回りで活躍しているリンテック製品

皆様に身近なところで実際に使用されている特殊紙の採用事例をご紹介します。

Case 1 カラークラフト紙

封筒用紙や包装用紙など幅広い用途で使用されるカラークラフト紙。独自の着色技術によって多彩な色をつくることのできるほか、隠蔽性や撥水性といったさまざまな機能を付与することも可能で、商品イメージや企業ブランドの向上にも貢献します。



カステラの老舗「文明堂」の紺色の包装紙にも採用されています

※ご協力：株式会社文明堂東京

Case 2 耐洗紙

クリーニングタグなどに使用される洗っても破れにくい紙。製造時に特殊な処理を施すことで、水にぬれても紙の中の繊維同士のつながりが維持され、破れにくくなっています。耐薬品性にも優れているので洗剤による色落ちで衣類を汚す心配がありません。



タグはクリーニング前に取り付けられるため、高い耐水性が求められます

※ご協力：株式会社共生社、株式会社石井文泉堂

▶ 特殊紙製品の特設ウェブサイト

当社では特殊紙を広く訴求し、拡販につなげていくため、特設ウェブサイトを開設しています。紙をお探しの事業者やデザイナーの方などが目的に合う製品をすぐに見つけられるよう、紙の用途や特徴から製品を検索することができるほか、紙工作のつくり方や特殊機能紙の実験動画といったコンテンツも掲載。一般の方も楽しめるサイトになっていますので、ご興味のある方はぜひ御覧ください。



随時内容の充実を図っている特設ウェブサイト

スマートフォンなどで右記の二次元コードを読み取ると、特設ウェブサイト簡単にアクセスできます。

www.specialty-papers.com



環境配慮ニーズを追い風に積極提案

昨今の環境配慮意識の高まりから、食品包装資材や文具、日用品などさまざまな用途で脱プラスチック・減プラスチック需要が拡大してきています。当社では耐油性や耐水性、透明性などにおいてプラスチックやフィルムに近い性能・機能を備えた特殊紙を各種開発し、プラスチック代替製品として提案を強化しています。

また特殊紙の原材料についても、適切に管理された森林の木材を使用した森林認証パルプの採用や、非木材原料の混抄、さらには薬品の使用量削減に寄与する製造プロセス・設備の導入などを推進。製造時のエネルギー効率の改善も含め、幅広い視点から環境に配慮した製品の提供に努めています。



弁当容器などに使用できる厚物の耐油耐水紙



安全性や口当りに配慮した紙ストロー用原紙



中身が透けて見える半透明紙を利用した紙製ファイル

PICK UP

コアマモを使った混抄紙を開発

混抄紙とは茶殻や小豆の皮といった本来であれば廃棄される非木材原料を木材パルプに混ぜ合わせて抄いた紙です。当社では新たな原料として、海藻のコアマモに着目。全国に分布し、CO₂の吸収効果が認められているコアマモですが、アサリの稚貝保護や漁業者の航路確保などを目的に間引き・廃棄されることがあります。当社ではこのコアマモを利用した混抄紙を開発し、廃棄物の削減と“海の脱炭素”への貢献を目指しています。

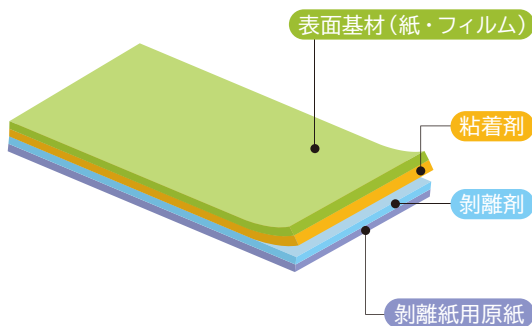


独特の風合いが特徴のコアマモ混抄紙

当社事業を下支えする抄紙技術

当社の抄紙技術は、基盤事業であるシール・ラベル用粘着製品などを構成する表面基材や剥離紙の製造にも生かされており、リンテックの強みの一つである粘着製品の一貫生産を実現しています。これがコストや品質、性能面における大きな優位性をもたらしており、剥離紙などを展開する加工材事業も含め、当社の事業を幅広く下支えています。

シール・ラベル用粘着製品の基本構成



INTERVIEW

洋紙事業部門長に現在の事業環境や今後の展望などについて聞きました。

現在はペーパーレス化の進展や長引くコロナ禍による市況回復の遅れに加え、パルプをはじめとする原燃料価格や輸送費の高騰によって非常に厳しい事業環境にあります。それに対し、当社としては今日に至るまであらゆる面で原価低減に取り組んできましたが、自助努力だけで乗り越えることは困難であり、お客様のご理解を頂きながら製品の価格改定を進めています。

このような状況にありますが、環境配慮ニーズなどの拡大を受けて「紙」という素材には大きな可能性を感じています。中期経営計画「LSV 2030-Stage 1」で注力テーマとして掲げている脱プラスチックやフードロスに対応した新製品、生分解性ヒートシール紙などの開発・提案に注力し、持続可能な社会の実現と当社グループの成長に貢献していきたいと考えています。



執行役員
事業統括本部 洋紙事業部門長
あおき さとし
青木 智

PET製容器のリサイクルに貢献するラベル素材を発売

ラベルの粘着剤にはアクリル系やゴム系の樹脂を使うのが一般的ですが、ラベルがペットボトルなどのPET製容器に貼られた場合、容器のリサイクル効率低下の一因になっていました。そこで当社ではポリエステル系の粘着剤を新たに開発し、ポリエステルを使った表面基材と組み合わせて、PET製容器とのモノマテリアル(単一素材)化を実現したラベル素材を発売。表面基材の特殊な処理によって、ペットボトルのリサイクル工程で行われているアルカリ温水洗浄時に印刷されたインクを除去することができ、異種材料の混在を防いでリサイクル効率の向上に貢献します。

一般的なラベル



モノマテリアル(単一素材)ラベル



ラベルを剥がして分別するという考え方に加え、ラベルが残ったままでもリサイクルの妨げとなりにくいモノマテリアルラベル素材

ホットメルト粘着剤を使用したラベル素材の国内展開を強化

当社では米国子会社の技術を活用し、固形樹脂を熱で溶かしながら塗工するホットメルト粘着剤を使用したラベル素材「CHILL AT」を2020年から国内市場に本格投入しています。このたびその展開強化に向け、ラベル貼付後にズレにくく、曲面への貼付性などにも優れた、幅広い用途で
チル エーティー
使用できる強粘着タイプの粘着剤を開発。同粘着剤を使用したラベル素材各種を「HVT」シリーズ
エイチブイティー

として2月に発売しました。粘着剤の塗工時に有機溶剤が不要なことに加え、植物由来原料の活用や低塗布量を図ることで石油由来原料の使用量を削減しており、高まる環境配慮ニーズに応えるラベル素材として拡販に努めていきます。



日用品や食品といった幅広い分野の表示ラベルなどに使用可能



リンテック みっけ!

2022年度 新聞広告シリーズ

あなたの身近なところに、リンテックテクノロジー。

持続可能な社会の実現に向けて、リンテックはさまざまな製品や技術を生み出しています。皆様の“暮らしの中で活躍するリンテック”を好奇心旺盛な黒猫と一緒に見つける広告シリーズです。

【掲載紙】

日本経済新聞、読賣新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、北海道新聞、中日新聞、中国新聞、西日本新聞、上毛新聞、神戸新聞、愛媛新聞、日刊工業新聞、化学工業日報



リンテック
みっけ!

航空機の軽量化で燃費を向上させる
炭素繊維のシート加工に必要な紙

リンテック株式会社



1月 掲載広告

炭素繊維はその軽さや強度から航空機の主要部分などに使われており、機体の軽量化による燃費向上を図るうえで不可欠な素材となっています。1本1本が髪の毛のように細いこの炭素繊維をシート状の中間材料へと加工する際に必要なのがリンテックの工程紙です。



リンテック
みっけ!



果物などに直接貼っても安心・安全な
食品衛生法に対応したラベル素材

リンテック株式会社



2月 掲載広告

リンテックでは安全性を評価した物質のみを使用可能とする食品衛生法に対応したラベル素材を展開。果物などに直接貼付できるほか、一般のラベルでは剝がれやすい凍結・結露面にしっかりと貼れることから、冷凍食品の表示ラベルとしても提案を強化しています。



リンテックは
いつも
そばに。



あなたの暮らしの身近な場所で
持続可能な未来をつくる

リンテック株式会社



3月 掲載広告

当新聞広告シリーズでは、一年間にわたり持続可能な社会の実現に向けて身近なところで活躍するリンテックの製品や技術を紹介してきました。私たちはこれからも、さまざまな社会的課題に向き合いながら、持続可能な未来につながる製品を開発・提供していきます。

製品の詳細は右記の二次元コードから
ウェブサイトにて御覧いただけます。

DREAM FACTORY
www.lintec.co.jp/dream/ad



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)	当第3四半期 連結会計期間	前連結 会計年度
流動資産	187,424	182,224
固定資産	135,911	120,640
① 資産合計	323,336	302,865
流動負債	74,098	72,382
固定負債	20,721	20,724
② 負債合計	94,819	93,107
③ 純資産合計	228,516	209,758
負債純資産合計	323,336	302,865

四半期連結損益計算書及び 四半期連結包括利益計算書(要約)

(単位：百万円)	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間
④ 売上高	216,552	191,245
売上総利益	50,044	50,149
販売費及び 一般管理費	36,797	32,378
⑤ 営業利益	13,246	17,770
経常利益	15,237	18,558
税金等調整前 四半期純利益	15,224	18,828
⑥ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	11,075	13,373
四半期包括利益	28,672	18,522

■ ポイント！

① 資産合計

自己株式の取得などにより「現金及び預金」が減少しましたが、米国での事業買収や調達コストの上昇により「棚卸資産」が大幅に増加したほか、成長分野への積極投資による「有形固定資産」の増加などにより、総資産は204億71百万円増加しました。

② 負債合計

「未払法人税等」などが減少しましたが、当連結会計期間の末日が金融機関の休日であった影響による「支払手形及び買掛金」の増加などにより、負債は17億12百万円増加しました。

③ 純資産合計

自己株式の取得による減少がありましたが、円安の進行による「為替換算調整勘定」の増加などにより、純資産は187億58百万円増加しました。

④ 売上高

米国での事業買収の効果で印刷・情報材事業部門が大幅に増加したことなどにより、売上高は253億6百万円増加しました。

⑤ 営業利益

円安による増益効果はありましたが、原燃料価格上昇の影響を大きく受けたことなどにより、営業利益は45億24百万円減少しました。

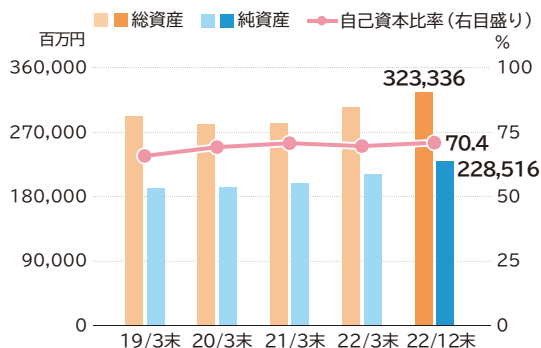
⑥ 親会社株主に帰属する 四半期純利益

円安の進行により為替差益が大幅に増加しましたが、営業利益が減少したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億98百万円減少しました。

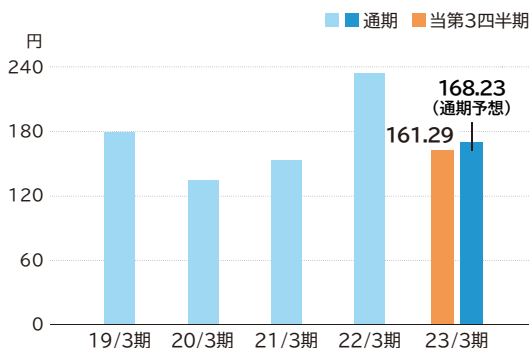
四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間
営業活動による キャッシュ・フロー	6,702	20,887
投資活動による キャッシュ・フロー	△6,942	△10,537
財務活動による キャッシュ・フロー	△12,582	△10,973
現金及び現金同等物の 四半期末残高	41,082	58,649

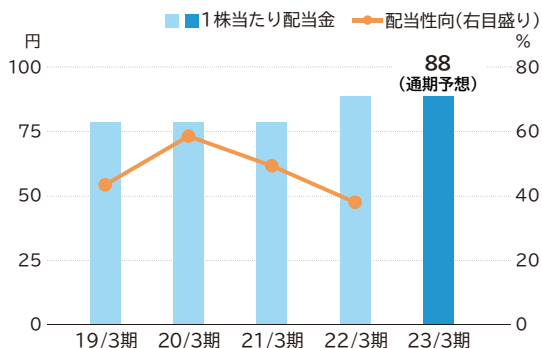
総資産・純資産・自己資本比率



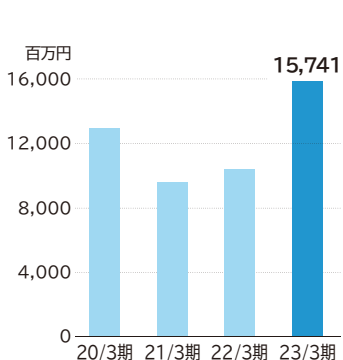
1株当たり四半期(当期)純利益



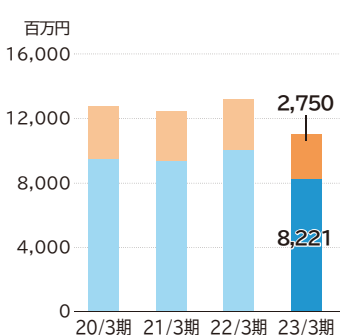
1株当たり配当金・配当性向



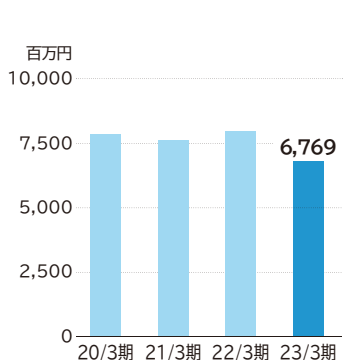
設備投資額



減価償却費 のれん償却額



研究開発費

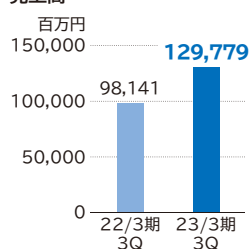


印刷材・産業工材関連 (前年同期比)

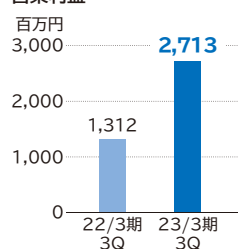
売上高 **1,297億79**百万円 (32.2%増)

営業利益 **27億13**百万円 (106.8%増)

売上高



営業利益



印刷・情報材事業部門 (前年同期比)

売上高 **1,051億65**百万円 (40.6%増)

主要製品

- シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルム
- バーコードラベル用粘着紙・粘着フィルム



産業工材事業部門 (前年同期比)

売上高 **246億14**百万円 (5.3%増)

主要製品

- 自動車用粘着製品
- 工業用粘着テープ
- ラベリングマシン
- ウィンドーフィルム
- 屋外看板・広告用フィルム
- 内装用化粧フィルム



事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

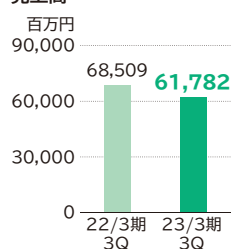
- 印刷・情報材事業部門はシール・ラベル用粘着製品が、国内では食品や飲料キャンペーン用などの需要は低調だったものの、各種環境配慮製品の新規採用が進んだほか、物流や医薬関連の需要が増加したことなどにより堅調に推移しました。海外では米国における買収効果もあり大きく伸長したほか、アセアン地域でも堅調に推移しました。
- 産業工材事業部門は国内で自動車用粘着製品の需要が堅調に推移したほか、海外ではアセアン地域を中心にウィンドーフィルムや自動車用粘着製品などが堅調に推移しました。
- セグメント営業利益は原燃料価格や物流コストが上昇したものの、米国子会社の損益が大幅に改善したこともあり、前年同期に比べ増加しました。

電子・光学関連 (前年同期比)

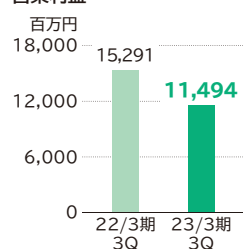
売上高 **617億82**百万円 (9.8%減)

営業利益 **114億94**百万円 (24.8%減)

売上高



営業利益



アドバンスマテリアルズ事業部門 (前年同期比)

売上高 **478億97**百万円 (5.2%減)

主要製品

- 半導体関連粘着テープ
- 半導体関連装置
- 積層セラミックコンデンサ関連テープ



オプティカル材事業部門 (前年同期比)

売上高 **138億85**百万円 (22.8%減)

主要製品

- 偏光フィルム／粘着加工
- タッチパネル関連製品



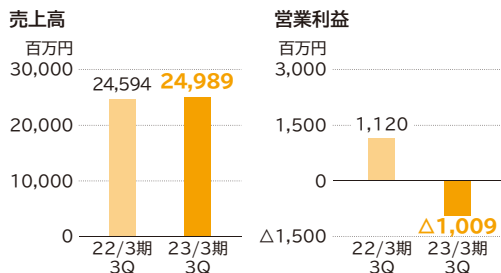
事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- アドバンスマテリアルズ事業部門は半導体関連粘着テープや関連装置、積層セラミックコンデンサ関連テープが、秋口以降にスマートフォンやパソコン用などの需要低迷の影響を大きく受けて低調に推移しました。
- オプティカル材事業部門は車載用タッチパネル関連製品が伸長したものの、光学ディスプレイ関連粘着製品が大型テレビやスマートフォン用などの需要低迷の影響を大きく受けて低調に推移しました。
- セグメント営業利益は単体での生産設備の操業度低下の影響を受けたことなどもあり、前年同期に比べ減少しました。

洋紙・加工材関連 (前年同期比)

売上高 **249億89**百万円 (1.6%増)

営業利益 **△10億9**百万円 (－)



洋紙事業部門 (前年同期比)

売上高 **119億61**百万円 (6.1%増)

主要製品

- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙
- 高級印刷用紙
- 建材用紙



加工材事業部門 (前年同期比)

売上高 **130億28**百万円 (2.2%減)

主要製品

- 粘着製品用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙



事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- 洋紙事業部門はカラー封筒用紙が前年同期並みとなったほか、耐油耐水紙がテイクアウト需要の増加などにより堅調に推移しました。
- 加工材事業部門は航空機向け炭素繊維複合材料用工程紙の需要が低調だったものの、スポーツ・レジャー用品向けの需要は堅調に推移しました。また、電子材料用剥離紙や光学関連製品用剥離フィルムは、秋口以降に需要低迷の影響を受けて低調に推移しました。
- セグメント営業利益はパルプを中心とした原燃料価格上昇などの影響を大きく受け、営業損失となりました。

※ セグメント別の営業利益はセグメント間取引消去前の数値に基づいています。

株式情報 (2022年12月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数 (ただし自己株式を除く)	68,359,137株
単元株式数	100株
株主数	7,886人



IRメール配信サービスのお知らせ

当社では新製品情報なども含め、株主・投資家の皆様へさまざまなニュースを幅広くお届けするため、IRメール配信サービスをご提供しています。配信をご希望の方は、当社IR情報サイトよりご登録をお願いいたします。



スマートフォンなどでこの二次元コードを読み取ると、登録ページへ簡単にアクセスできます。

www.lintec.co.jp/ir/ir_mail

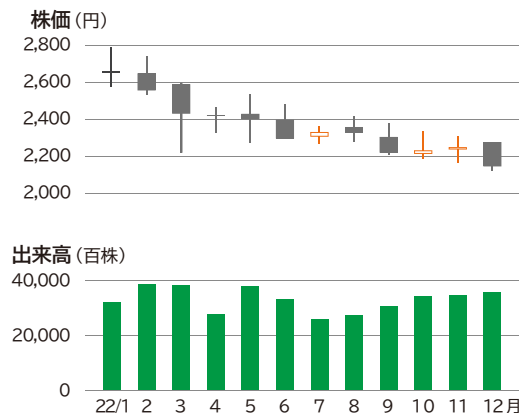
大株主の状況 (上位10位)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本製紙株式会社	21,293	31.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,600	9.65
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	3,770	5.51
全国共済農業協同組合連合会	2,502	3.66
庄司 たみ江	1,796	2.62
リンテック従業員持株会	1,214	1.77
塩飽 恵以子	1,043	1.52
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	998	1.46
BBH FOR UMB BK, NATL ASSOCIATION-GLOBAL ALPHA INTL SMALL CAP FUND LP	888	1.30
塩飽 一誉子	803	1.17

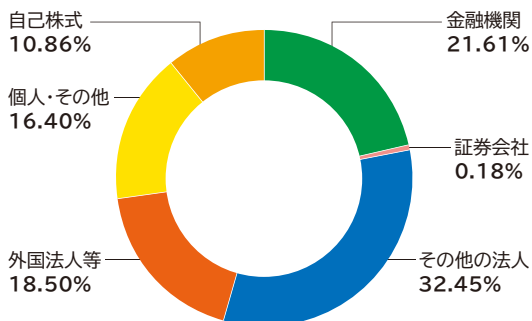
注1. 当社は自己株式8,329,603株を保有しておりますが、上記表からは除外しております。

注2. 持株比率の算定に当たっては、自己株式を控除して計算しております。

株価および出来高の推移 (2022年1月~12月)



所有者別分布比率



会社概要 (2022年12月31日現在)

社名	リンテック株式会社 (英文: LINTEC Corporation)
本社	東京都板橋区本町23-23
設立	1934年10月15日
資本金	233億5,598万1,761円
上場	東京証券取引所プライム市場
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	連結: 5,158人 単体: 2,628人 (2022年3月31日現在)
事業所	営業拠点: 東京、札幌、名古屋、大阪、福岡など全国11か所 生産拠点: 吾妻(群馬県)、熊谷・伊奈(埼玉県)、千葉(千葉県)、 龍野・新宮(兵庫県)、小松島(徳島県)、三島・土居・新居浜(愛媛県) 研究拠点: 蕨・さいたま(埼玉県) 海外事務所: ハノイ(ベトナム)
連結子会社	国内: 3社 海外: 39社

株主メモ

定時株主総会	6月
配当基準日	期末: 3月31日 中間: 9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社
・郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・フリーダイヤル	☎ 0120-232-711
・ホームページアドレス	www.tr.mufig.jp/daikou
住所変更、単元未満株式の 買取・買増等のお申し出先 について	株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
株主総会資料の電子提供制度開始に 伴う書面交付請求に関するご案内	会社法改正に伴い、株主総会資料の電子提供制度が開始されました。引き続き書面での交付をご希望の場合は、2023年3月31日までにお手続きが終わるよう株主様の口座のある証券会社または株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお早めにお申し出ください。
法定公告掲載ホームページアドレス	www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html



リンテック株式会社 *Linking your dreams*

● 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23
URL www.lintec.co.jp

発行 広報・IR室 2023年3月
TEL. (03) 5248-7741
FAX. (03) 5248-7754

社名の由来は、リンケージ(結合)とテクノロジー(技術)。ロゴマークは、地球を表す楕円にLINTEC・LINKAGE(結合)・LOYALTY(誠実)の三つの「L」で表現したウェーブ(波)を組み合わせでデザイン。世界を舞台に飛躍していこうという決意を込めています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。